

ACM国際大学対抗プログラミングコンテストアジア地区予選東京大会－ACM/ICPC東京大会

ACM International Collegiate Programming Contest, Asia Regional Contest, Tokyo

ACM (Association for Computing Machinery、国際計算機学会、1947年設立、会員数約8万人、本部ニューヨーク) は、大学生を対象とした国際大学対抗プログラミングコンテスト (ACM International Collegiate Programming Contest－ICPC) を1977年以来世界的規模で開催しており、今回で34回目となる。このコンテストは同一大学の学生3人が1チームとなり、コンピュータプログラミングの正確さと速さを競うもので、世界中の大学生が自らのコンピュータの知識と技術のレベルの向上を図るとともに貴重な国際交流の経験を積むことを目的としている。前回は88カ国、1838大学の7109チームが世界各地で開かれた地区予選に参加し、その優秀100チームが世界大会 (2009年4月ストックホルムにて開催) で世界一の座を競い、St. Petersburg University of IT, Mechanics and Optics (ロシア) が2年連続で優勝した。

日本でも、アジア地区予選のひとつを1998年以来、東京大会 (ホスト校－早稲田大学)、京都大会 (京都大学)、つくば大会 (筑波大学)、函館大会 (公立はこだて未来大学)、金沢大会 (金沢工業大学)、会津大会 (会津大学)、愛媛大会 (愛媛大学)、東京大会 (東京工科大学)、横浜大会 (慶應義塾大学)、東京大会 (東京大学)、会津大会 (会津大学) と毎年開催し、今回で12回目となる。アナウンス、オリエンテーション、設問、表彰、レセプション等すべてが英語で行われる、情報科学の分野では数少ない大学生を対象とした国際大会ということで、非常に意義ある大会である。過去の各大会から世界大会へ参加した日本チームは、1999-2000年大会で京都大学が7位銅メダル、2000-2001年大会で京都大学が14位、2001-2002年大会で東京大学が18位、2002-2003年大会で東京大学11位銅メダル、東京工業大学が21位、2003-2004年大会で東京工業大学が27位、2004-2005年大会で京都大学が29位、2005-2006年大会で東京大学・京都大学が共に19位、2006-2007年大会で京都大学14位、東京大学24位、埼玉大学44位、2007-2008大会で東京大学13位、京都大学47位、2008-2009大会で東京大学20位、会津大学49位という結果となっている。

今年も、初回のホスト校であった早稲田大学が2回目のホスト校となり、11月7日 (土)～9日 (月) に国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区) および早稲田大学西早稲田キャンパス (東京都新宿区) において東京大会 (実行委員長: 寛捷彦教授) を開催する。

すでに去る7月3日に、全国69校281チームが参加して、インターネットによる国内予選を行い、20校27チームが本選に駒を進めている。東京大会本選では、この国内予選通過チームに海外3カ国 (台湾、韓国、中国) から参加登録のあった8校8チームを加えた28校35チームが一堂に会し、5時間に及ぶ競技を行う。当日の競技経過については、Web (下記 URL 参照) で実況中継する予定である。

アジア地区予選は、東京の他、寧波 (中国)・ダッカ (バングラデシュ)・カーンプル (インド)・合肥 (中国)・ジャカルタ (インドネシア)・上海 (中国)・新竹 (台湾)・アムリタプリー (インド)・武漢 (中国)・プーケット (タイ)・ソウル (韓国)・テヘラン (イラン)・ハルビン (中国)・マニラ (フィリピン)－開催日順の計15カ所で開催され、日本から、国内予選上位2大学を他のアジア地区大会へ派遣する。国内予選1位の東京大学 HITORI#チームは新竹大会 (10月31日)、3位会津大学 Watch.d チームはプーケット大会 (11月4日) にそれぞれ参加予定となっている。

各地区予選の優勝および成績優秀チーム約100チームが2010年2月にハルビン (中国) で開催される世界大会に進出する。

競技方法・参加資格、参加チーム等の詳細については、ICPC 東京大会ホームページに掲載している。

◆コンテスト案内: <http://www.waseda.jp/assoc-icpc2009/jp/> (11月8日本選はWebで実況中継予定)

本件についてのお問い合わせは以下にお願いいたします。

- ・ACM/ICPC東京大会実行委員会 (早稲田大学) E-mail: [director-icpc2009@fuka.info.waseda.ac.jp](mailto:director-icpc2009@fuka.info.waseda.ac.jp)
- ・ACM日本支部事務局 〒107-0062 東京都港区南青山5-12-27 ワイズビル405 (財団法人情報科学国際交流財団内)  
Tel. 03-5766-3643 Fax. 03-5766-3642 E-mail: [office@acm-japan.org](mailto:office@acm-japan.org)

世界大会を含めACM/ICPC全般については <http://cm2prod.baylor.edu/> 参照

## ACM/ICPC東京大会 概要

主催：ACM/ICPC東京大会実行委員会

共催：早稲田大学、ACM日本支部

後援：文部科学省、経済産業省、総務省、(独)科学技術振興機構、(独)理化学研究所、(社)情報サービス産業協会

協賛：(社)情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、(財)情報科学国際交流財団

協賛企業：日本アイ・ビー・エム(株)、楽天(株)、グーグル(株)、グリー(株)、(株)ザッパラス、(株)CSKホールディングス、  
(株)シンプレクス・テクノロジー、(株)ディー・エヌ・エー、日本電信電話(株)、(株)ミクシィ、(株)リンクレア、(株)NTTデータ、  
KLab(株)、(株)構造計画研究所、(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所、日本電気(株)、(株)野村総合研究所、  
(株)ビーエスピー、(株)ビーコンインフォメーションテクノロジー、富士通(株)、(株)モルフォ

実行委員長：笈捷彦(早稲田大学)

実施委員長：高橋竜一(早稲田大学)

実施委員：後藤滋樹、戸川望、中島達夫、深澤良彰、前原文明、村岡洋一、山名早人、鷺崎弘宜(以上早稲田大学)

審判長：山口文彦(東京理科大学)

審判団：石畑清(明治大学)、上田和紀(早稲田大学)、鴨浩靖(奈良女子大学)、鎌田十三郎(神戸大学)

久野靖(筑波大学)、久保田光一(中央大学)、小宮常康(電気通信大学)、佐藤健吾(バイオ産業情報化コンソーシアム)  
柴山悦哉(東京大学)、田中哲朗(東京大学)、西村進(京都大学)、新田善久(津田塾大学)、増原英彦(東京大学)、  
脇田建(東京工業大学)

審判アドバイザー：近山隆(東京大学)

### 1. コンテストの流れ

- ・ 申込：インターネットによる登録
- ・ 国内予選：7月3日(金) インターネット上で開催
- ・ 本選出場チーム決定(海外からの参加については申込チームの中から実行委員会で定めた規則に基づき決定)
- ・ 本選：11月8日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター

### 2. 参加資格

- ・ 1チーム3名の学生とコーチ1名
- ・ 学生は、同じ大学(大学院も含む)・短大(専攻科も含む)・高専(3年次修了以上専攻科も含む)に在籍し、大学・短大入学後(高専では3年次修了後)5年以内であること
- ・ コーチは、教員あるいは大学院生

### 3. 国内予選

日時：2009年7月3日(金) 16:30~19:30

場所：参加者所属校よりインターネットにより実施

問題：出題は英語で6問。日本語訳も併記

使用言語：C、C++、Java (本選も同じ)

参加数：69校281チーム(過去最多)

結果：ルールに則り、20校27チームが本選への出場権を獲得

上位2校を海外のアジア地区予選に派遣予定。1位東京大学HITORI#チームは新竹大会(台湾、10月31日)、3位  
会津大学Watch.dチームはプーケット大会(タイ、11月4日)に参加予定

### 4. ACM/ICPC東京大会本選

日時および予定：2009年11月7日(土)~9日(月)

11月7日(土) 開会式、オリエンテーション、トライアルユース、Javaチャレンジ、歓迎会

11月8日(日) 本選、Javaチャレンジ対戦、表彰式、閉会式、懇親会

11月9日(月) エクスカーション(観光、企業見学)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京都新宿区大久保3-4-1)

参加数：27校35チーム(日本20校28チーム、海外7校7チーム)

大会公式言語：英語(進行・設問・質疑応答、歓迎会、表彰式等すべて)

(参考)

東京大会スケジュール

11月7日(土)	13:00～14:00	受 付	オリンピック記念青少年総合センター センター棟 102
	14:00～15:00	開会式・オリエンテーション	
	15:00～17:30	トライアルユース	
	16:00～17:30	Java チャレンジ	
	18:00～20:30	歓迎会(チーム紹介)	同 国際交流棟 レセプションホール
11月8日(日)	8:40～ 9:00	受 付	同 センター棟 102
	9:20～14:20	コンテスト	同 センター棟 102
	10:00～12:00	コーチワークショップ	同 センター棟 107
	15:40～16:40	問題解説	早稲田大学西早稲田キャンパス 57号館 201教室
	16:40～17:50	Java チャレンジ対戦	
	18:00～18:40	表彰式・閉会式	
	18:40～20:30	懇親会	同 63号館1階 カフェテリア
11月9日(月)	8:30～14:00	エクスカーション	車窓観光、企業見学

(参加チームは裏面)

## 東京大会本選参加チーム一覧

27校35チーム(日本20校28チーム、海外7校7チーム)

大学名	国	チーム数	チーム名
会津大学	日本	2	-W Watch.d
大阪大学	日本	1	Imo = {imos,ao,eee}
大阪電気通信大学	日本	1	auto main =-277;
九州大学	日本	1	Kyueue
京都大学	日本	2	#35 d3sxp
久留米工業高等専門学校	日本	1	HinagikuRhapsody
鈴鹿工業高等専門学校	日本	1	TLEbusters
筑波大学	日本	1	UNK
津田塾大学	日本	1	tororo
津山工業高等専門学校	日本	1	YUDOFU
電気通信大学	日本	1	Spanking Boys
東京大学	日本	4	_ry HITORI# MAGI System wakaba::a->[Bug]
東京工業大学	日本	2	40010 HABRush
東北大学	日本	2	SINONIS y/y
豊橋技術科学大学	日本	1	_BISCO_
広島大学	日本	1	(:D)rz
明治大学	日本	1	Kaeru Mario
山梨大学	日本	1	UltraHungry
立命館大学	日本	1	arguments.callee
早稲田大学	日本	2	0x3f swap(day,night);
Chiao Tung University 〈国立交通大学〉	台湾	1	VVVVvvVVvvVVVVVVvvVV
City University of Hong Kong 〈香港城市大学〉	中国	1	Come on James
National Taiwan University 〈国立台湾大学〉	台湾	1	Dont block me
Peking University 〈北京大学〉	中国	1	Catalyst
Shanghai University 〈上海大学〉	中国	1	Larva 1
Shanghai Jiaotong University 〈上海交通大学〉	中国	1	Rhodea
Yonsei University 〈延世大学〉	韓国	1	Decade